

自然エネルギー機器の開発に 生涯の夢を賭けて挑む

エネルギー革命への挑戦

風力発電機の小型化・家庭用化、そしてその開発及び普及に心血を注いでいるのが、㈱ウインドパワー。代表取締役高野茂登次さん。「近い将来、自然エネルギーで家庭の電力をまかなえる時代が来る」と、新型発電機の開発に余念がない。当センターの事業支援を受け、夢に向かって邁進するパワーの根源そして風力発電に対する熱い想いを語ってもらった。

安全で楽しめる 個人庭先発電システム

近年世界的なCO₂問題や生活環境の中でエネルギー機器の開発が進んでいます。合わせて先進国の共同合意として、自然を生かしたエネルギーの生産化が研究課題とされ、太陽光発電が一般的に普及し始めました。私が注目したのは、風から電力を得る風力発電。将来のエコエネルギーとして必ずや必要とされると信じています。

私は昭和59年から国内の農業協同組合（JA）とカナダ・エドモントンイグルー社と3社提携業務として輸入住宅資材の供給会社を経営していました。

農業地域の住宅資材を供給する中で、山地建設の場合、仮設電気が引き込めない等の事情からこれを風力でまかなえれば…とひらめいたのです。

平成9年に体調を悪くし、一時福島で入院

をしていた折に自然エネルギーが盛んに報道され始めました。研究中の風力発電を専門に事業化するために、平成12年(有)ワークプロを設立し企業化しました。

世界的に、風から電気を得るシステムの主流は、大型のプロペラ（一翼12m）3枚を回転させるブレードシステムと呼ばれるもの。これは、一般家庭で使用することは不可能です。何とかプロペラを小さくして発電の効率化が出来ないものか…。そこで先ず考えたのが、世界中の今現存する機器の特性を知ること。そう判断した私は、アメリカ、スウェーデン、デンマークなどの機器をそれぞれ一機ずつ購入して、国内で試験を行いました。国内は島国であり風も弱く、しかも一定の風速でもなく、プロペラの回転にも問題がありました。これを解決しない限り電気エネルギーにすることは困難を極め、一時は開発を打ち切るかとも考えましたね。

小型の風力発電装置を主体とし、太陽光発



家庭用小型風力発電機

電と併用したハイブリッドシステムが一応の完成をみた時、開発開始から5年の時間が経過してしまいました。次は、完成をみたシステムを世に送り出すことが課題となります。我家の発電システムとして、庭先で電気を造ることが可能なことを重点とし、農産業振興センターのエンジェル助成金を申し込みました。評価委員会にて機器を持ち込み詳細を説明し、その支援を受け小型風力の開発資金に充当させました。

開発の見直しと応用テスト アップアンド方式の再研究化

小型風車は、2.4mの風で回転し3.4mで発電が開始することが、世界の常識でした。しかし、弱風でしかも効率よく発電させるこ



株式会社 ウィンドパワー

高野 茂登次さん

待望新商品の上海工場の設立

現在は、風力発電以外の開発化も進み、中国上海市閘行区に共同工場を設立し、排風ダクト発電システムと電機還流発電装置（家庭用発電）の新規試作品も実験中であり、完成を楽しみにしております。

排風ダクトシステムは大体完成しています。平成17年10月までには還流発電も完成できると思いますが、1戸に1台4.5kwの自家発電が可能な装置になったら、日本の電力事情を大幅に改革できると信じています。当社の最終目的はここにあります。風力発電機同様どうぞ期待してください。ウィンドパワーここにあり…の気持ちで頑張ります。センターのさまざまな助言を味方につけるといって、語弊があるかもしれませんが、個人の力には限りがあるもの。産学連携や共同開発も含めて、相談にのってもらうのは成功への早道かもしれないですね。これから起業し頑張ろうとしている若い皆さんにも、「支援制度を利用してやる」位の気概をもって取り組んでほしいと思っています。

とができたなら…、1.5mの風速で回転させ2.1mで発電開始させることが可能になったら…、日本国内どこでも利用が可能になるはずだ。次の研究課題が見え始めましたね。

そして今年2月、希望通りのシステム開発に一応の成功をみる事ができました。県産業振興センターにこの報告を行ったところ、更なる激励をいただきました。余談ですが、NHKおはよう日本でも紹介され、問い合わせも22、310件に至り、県をはじめ各機関に大変迷惑をかけてしまい、今でも恐縮している次第です。

販売は代理店方式 着々と広がる販売網

新聞・テレビでの紹介により是非販売代理店になりたいという希望が3、312件発生。量産化の見通しも立ち、厳選し、現在31社が正式代理店となり5月に第1回代理店説明会を行いました。7月末より県のご協力を得て現在コラッセふくしま6階のインキュベートルームの一室に推進企画本部を設置させていただきました。10月まで延べ6回の本部会議を行い、全国に向けてウインドパワーグループを発足させることができました。平成17年までには、代理店150社を目指しています。

会社概要

株式会社	ウインドパワー
所在地	福島市三河南町1-20
業種	コラッセふくしま6階
電話	024(525)4044
規模	小型風力装置製造販売 環境小型機器類の開発
社員数	本社統括本部・二本松工場・ 下請提携工場(三工場) 11名